和教時報

2023年６月15日（木）発行　第1998号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

夏期交渉

物価高に見合った賃金を！

和教組　書記長　川口　貴生

五月二三日、教育三者共闘会議（和教組・和高教・教育庁職組）は県教委と夏期交渉を行いました。教育三者から五二名（和教組一九名）が参加しました。

賃金面では、物価高騰の中で実質的に目減りしている賃金の引き上げを強く求めました。特に会計年度任用職員は低水準に抑えられ、障害児学校の給食員などで未配置が深刻です。こうした現状を訴え、年度途中での賃上げを要求しました。

参加者から、小中学校の教職員の出張に高速代が支給されない実態が出され、県教委は「市町村教委に伝えていくようにしたい」と答えました。

栄養教諭の採用試験が今年から始まりましたが、これまで栄養士から任用替えで栄養教諭になった人との間で、賃金の逆転現象が起こる場合があると追及し、県教委は「課題は認識している」と回答しました。

多忙問題については、参加者から「教職員を増やせ」「具体策を示せ」と厳しい意見が続出しました。小中学校の超勤時間を調査し公表するよう求めましたが、県教委は「市町村の課題」と逃げました。一方、職員五〇人未満の小中学校の「安全衛生懇話会」の開催状況については調査の実施を検討するとしました。

権利面では、育短取得者が同一校に二名いた場合、補充を組み合わせて常勤にすることや、再任用短時間と組み合わせるなど工夫し、取得しやすい条件を整えることを求め、県教委は「考え方としてあり得ること」と応じました。

内示後の引継ぎのために赴任校に行く場合は「出張」となっていますが、昨年度末も「年休で行くように言われた」という事例がありました。あらためて、年休というのは、休む日を指定するのは職員であり、管理職が「年休を命じる」ことは間違いであること、引継ぎは「出張」であることを確認しました。

夏期交渉では具体的な前進はありませんが、確定交渉に向けて意見を出し合う最初の機会です。賃金引上げ、多忙解消を目指し確定交渉に向けてともに頑張っていきましょう。

輝いてワンショット　学校生協っていいね！
（23.和教組大会より）

ピンのスポット ㊵

和教組大会の前日、紀伊半島はあちこちで災害に見舞われることとなってしまった。私が勤務する学校は遠方から通う生徒がいるため、前日から臨時休校が決まった。しかし、私は「これとこれと」と仕事を終わらせることを考えて、コンビニで食材を買い込み、普段通りに出勤した。ある学校では給食を早めに食べてから保護者に迎えに来てもらったとも聞く。冷静に考えると、どちらも危険を顧みない行動だと思う。しかし、何故そこまでして…

もし、登校していても、嵐が静まるまで子ども達の身の安全を確保し、学校の備蓄品で対応すれば良いのではないか。学校の避難所としての役割を整理しなければ、突然起こる地震には到底対応できないのではないか？と強く思った。そして、自分自身の仕事も整理が必要である。　（I）

平和大行進 at 和歌山市

5月20日(土)

日本は核兵器禁止条約に批准せよ!!

和歌山市支部　書記長　田畑　雄介

八月六日広島原水爆世界大会に向けて、みんなでわいわいと行進しました。大新公園の前で、車の窓を開けて大きく手を振ってくれる方やクラクションを鳴らしてくれる方もいて、平和への思いや核兵器をなくしたいという思いを同じくする方がいるのだなと嬉しく思います。

行進しながら寄付を募ると、「頑張って」と小銭を全て入れてくれた方や、「少ないけど」と言いながら千円札を入れてくれた方もいました。その一方、「物価高騰で厳しい」「さっき病院行って薬代いっぱいとられたんよ」と断られる方もいました。

平和を語るにも、やはり経済的安定は大事だなと感じました。

広島サミットにて、核兵器のない世界について話し合われました。核兵器廃絶について、具体的な案が何もなかったのに、政府も、マスコミも大成功と大宣伝…被爆者の方々は失敗と訴えていることを取り上げもしません…岸田首相も、核兵器のない世界にするというのなら、日本は核兵器禁止条約に参加し、核兵器禁止を世界に呼びかけて欲しいと願います。

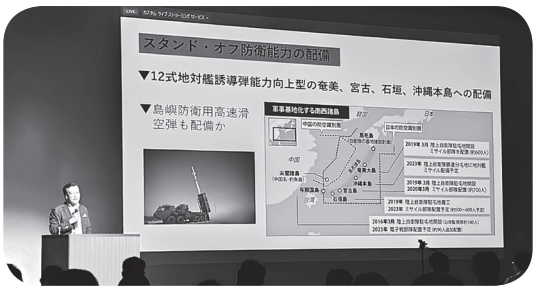
WE LOVE 憲法集会

本当の平和は軍事ではなく外交によって実現できる

和教組　副執行委員長　野口　共

▶「うたごえオールスターズ」のコーラス

今年の「WE LOVE 憲法集会」は、五月二〇日に県立図書館のメディアアートホールで行われました。集会は、いつものように「うたごえオールスターズ」のコーラスで始まりました。この間、コロナ禍でなかなか集まりにくい状況でしたが、今回は会場いっぱいの参加者でした。



◀半田滋氏講演

講演は「敵基地攻撃と日米一体化、防衛費倍増は国民負担に」という演題で防衛ジャーナリストの半田滋氏でした。

講演の中で半田氏は、①敵基地攻撃能力を持つことについて政府の主張は一方的で合理性に欠けていること。また日本が軍事力強化を行うことは東アジアに不安定化を呼び込むこと。②防衛費の増額について、政府の説明の財源根拠はいい加減で危険性が強いこと。今回の予算でアメリカから買わされる兵器は一昔前の兵器で使い物にならないことと、日本で開発する兵器も失敗する可能性が高いこと。③台湾有事の戦場は、日本と台湾であり、対米支援をする日本は自滅を選ぶのに等しい。

最後に半田氏は、本当の平和は軍事ではなく、命がけの外交によってはじめて実現できるということを強調されました。

特に私は、今回の防衛予算でアメリカに買わされる兵器に理不尽さを感じました。日本はもっとアメリカに対し、対等に物言える外交を行わないと将来がないと改めて感じた集会でした。

外国籍教員に関する学習会

4月28日(金)

国籍の違いで「教諭」になれないのは問題だ！

和教組　書記長　川口　貴生

教員採用試験に合格しても、日本国籍がないと教諭になれないことをご存知でしょうか。こうした国籍の違いによる任用上の差別は問題であり、和教組では今、県教委に対して改善を求めるために署名を集めています。

四月二八日に、研究者の中島知子先生（元プール学院大学教授）を招き学習会を行い、オンラインも含めて二三人が参加し、全教役員にも参加していただきました。

現状では、日本国籍がないと教諭になれず、「期限を附さない常勤講師」という身分になります。賃金等の条件は教諭と同じですが、学年主任や教務主任などの「主任」や管理職になれません。

背景には、一九五三年の内閣法制局の「当然の法理として、公権力の行使または国家の意思の形成への参画に携わる公務員となるためには日本国籍が必要」とした見解があります。最初、地方公務員は対象外でしたが、徐々に影響が及び、九一年の文部省通知で現在のようになったという複雑な経過があります。

しかし、労働基準法は国籍による待遇上の差別を禁止しています。さいたま市では教諭任用を認めているという紹介もありました。署名を集め、まずは任命権者である県教委へ、そして文科省へと運動を広げていきましょう。

研究集会

2023和歌山の教育

和教組　書記次長　山崎　浩廉

「太地中学校生徒協議会の取り組み～地域での活動を通して」

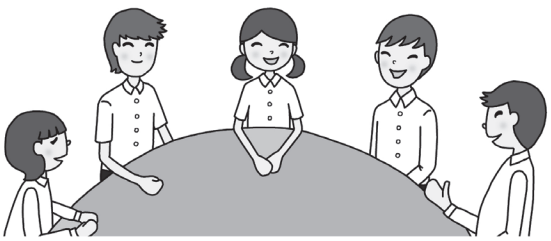
長尾慶輔さんの実践報告では生徒たちが学校のこと、地域のことに目を向けて調べた上で要望を見出していきます。「要求を出すこと」は難しいことだと思います。ましてや学校や地域のことに目を向けたりすることも難しいはずです。普段から地域に出て活動していること、そして中学生議会が何年も引き継がれ行われているからこそだと痛感しました。太地の子どもたちは地域の住人だという意識を自ら育んでいることがよく分かりました。

「生徒会行事を通しての生徒たちの成長と自主活動の活性化」

平井雅人さんの実践報告では生徒はもちろん教職員の自主活動への熱意が伝わり、気持ちが動かされました。「あかんかったら、あかんでもええ。生徒を待つ」と生徒を信頼することや、助言することの難しさも同時に語ってくださり、本当に包み隠さない報告でした。

また「三五年前にも生徒会活動は大事にされていた。私がその当時気づいていなかっただけかもしれない」の言葉はとても印象に残りました。

私は二つの報告の中の生徒たちは活動・学びを通して、その場でその地で生きているんだという自覚をより強く持つことができていると思いました。そして自主活動、自治活動は、人間の発達に欠くことのできない活動であるということも認識することができました。最後に、何より報告している先生がとても楽しそうでした。



ぜひ あなたにも 読んでいただきたい この一冊

10 「君たちはどう生きるか」

（吉野源三郎　著）

伊都支部　橋本小分会　**柳瀬　一輝**

この本は一九三七年刊行と、やや古い作品ですが現在でも十分読み応えのあるものだと思います。当時、軍国主義の勃興とともに、言論や出版の自由が著しく制限され、労働運動や社会主義の運動が激しい弾圧を受けていた中、せめて次の時代を背負う少年少女だけは、時勢の悪い影響から守りたいとの考えから執筆された作品だそうです。

主人公のコペル君はデパートの屋上から見下ろした東京の街の風景に、いろいろな人が生きていることに身震いし「人間て、ほんとに分子みたいなものだね」と自分も含めて広い広い世の中の一分子だと感じた事。多くの同級生から馬鹿にされていた浦川君へのいじめに怒った友達の北見君が首謀者と争った出来事では、浦川君に同情し北見君の肩をもった事。その度毎にコペル君はそれらの話をおじさんにし、おじさんはノートにコペル君が話してくれた事への考えや思いを綴るという構成の作品です。コペル君の考えや行動の指標にもなっている、ノートに綴られているおじさんの言葉には含蓄のあるものが多くあります。「学校でこう教えられ、世間でもそれが立派なこととして通っているからといって、ただそれだけで、いわれたとおりに行動し、教えられたとおりに生きてゆこうとするならば、―コペル君、いいか、―それじゃあ、君はいつまでたっても一人前の人間になれないんだ。子供のうちはそれでいい。しかし、もう君の年になると、それじゃあダメなんだ」「まず肝心なことは、いつでも自分が本当に感じたことや、真実心を動かされたことから出発して、その意味を考えてゆくことだと思う」等々です。

この本は病のため現職で亡くなられた、教育実践と組合活動を何よりも大切にされた先輩に教えてもらいました。アニメ版も数年前に出版されているので学級に置いておくのも良いと思います。この作品に影響を受けた宮崎駿監督の映画も近々封切られるそうなのでそれも楽しみです。

今年は長崎ですよ！

原水爆禁止世界大会・長崎

今年で広島と長崎へ原爆が投下されてから七八年、また核兵器禁止条約の発効から二年経過しました。

しかし、いまだに日本は条約に批准せず、G7サミット中に行われた日米の首脳会談で〝核の抑止力が不可欠〟との認識を確認するなど、唯一の被爆国であるにもかかわらず核廃絶に背を向けています。八月七日（月）一五時から九日（水）一三時まで長崎（市民会館など）で行われる大会に参加して、「核兵器のない世界」を実現しましょう。参加希望の方は和教組までお問い合わせください。

日教弘教育賞

学校や個人の教育実践をまとめてみませんか？
日教弘は教育実践論文に対して表彰助成を行っています。

◆表彰および賞金額

⑴	最優秀賞２編	・学校部門50万円	・個人部門30万円
⑵	優秀賞　６編	・学校部門40万円	・個人部門20万円
⑶	優良賞　８編	・学校部門30万円	・個人部門15万円
⑷	奨励賞（上記外論文）	・学校部門10万円	・個人部門５万円

和歌山支部で選考後２～３編を本部へ推薦します。
また本部推薦以外にも支部表彰があります。

◆９月末日　日教弘和歌山支部　メールにて応募下さい

※詳しくは「日教弘和歌山支部」のホームページをご覧ください。

https://www.nikkyoko.or.jp/company/wakayama/

公益財団法人　日本教育公務員弘済会和歌山支部　TEL 073-421-7881